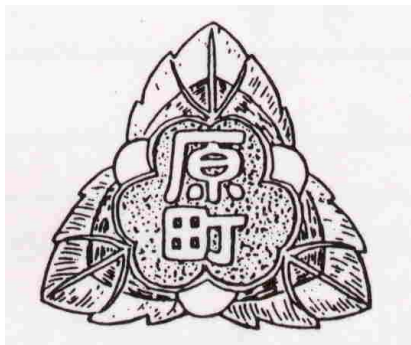




目黒区立原町小学校

令和7年度 学校経営方針

かかわり合いながら 自己実現
できる学校を目指して

校長 加藤 明恵

学校教育目標

○よく考える子

○助け合う子

○明るく元気な子

多様な人とのかかわりを通して、自分と違う見方や考え方に気付いたり、友達と仲良くするために必要な技能やマナーを習得したり、自己理解と他者理解を繰り返しながら自己実現できる児童を育てていく。

目指す学校像

児童

「自分大好き 友達大
好き 学校大好き」
と感じながら生活する学校

教職員

「私の学校」
という意識をもって、協働し
て課題解決に取り組む学校

かかわり合いながら
自己実現

「自分の町の学校」
として、児童の成長を支え励ます学校

保護者・地域

【令和7年度の重点的な取組】

①自己調整力を高める

- ・自己選択学習の時間の充実
- ・キャリア（起業家）教育の充実
- ・特別活動（学級会）の充実
- ・M I Mの継続 ・パワーアップタイムの継続
- ・ライフスキル（自己認知）の継続→自己肯定感

②原町タイムの有効活用

③全学年習熟度別算数少人数指導

【令和7年度の重点的な取組】

④体力向上に向けて

- ・外遊びの日常化
- ・朝トレーニング
長縄やペースランニングの強化月間

⑤いじめ防止授業週間

- ・6月11月2月のふれあい月間に設定

⑥あいさつ運動週間の設定

- ・6月11月2月のふれあい月間に設定

【令和7年度の重点的な取組】

⑦「原町小生活のきまり」「ipadのきまり」の徹底

⑧保護者・地域と取り組む教育活動

- ・ 学校運営協議会先行実施（コミュニティスクール）
- ・ 授業サポーター ・ 学年親睦会 ・ 漢字検定

⑨検討中の内容

- ・ 伝統の継承と実態に応じた取組の変更
- ・ 月水金5時間、火木7時間→先生方と子どもとの時間

保護者の皆様へお願い

- ①学校(先生)と保護者の対立は、お子さんに決していい影響を与えません。学校と保護者は共に手を携えながら、同じ方向性・歩調で（指導方法を共通理解し一緒の方針で）教育していきましょう。
- ②ご家庭では、お子さんに聞こえるところで、先生への不満や批判になるようなことを言わないよう心がけてください。友達のことも

保護者が批判していることがお子さんに伝わると、学級で先生（担任）のを批判的に見たり、見下すようになっていたりして、「学級をよくしよう」という気持ちが薄れたり、「学級崩壊」に繋がったりするケースが見られます。むしろ「先生はあなたのことを考えているから、叱ってくれているんだよ」などと言ってあげた方が、いい方向に行くケースが多いです。もちろん、「先生の指導はどういう意図なのか」「なぜうちの子が？」などという疑問があれば、どうぞ遠慮なく学校へご相談ください。一緒に解決していきたいと思います。

また、友達に関しても子ども目線と親目線は違います。友達に対する不満等もお子さんの言動に影響することがあります。上記同様にご相談ください。

保護者の皆様へお願い

③学校（先生）や保護者、子どもの情報（特にマイナス）を
事実確認せずにSNS等で情報発信することは決してなさないでく
ださい。

後で確認したら「そんな事実はなかった」「間違った情報でした」では済まされず、保護者間の仲間はずれやいじめにつながるケースがあります。お互い気を付けていきましょう。

④児童同士の問題が起こった場合は、「自分の子も他の子に迷惑をかけてしまうこともあるかもしれないから、お互い様という寛容な気持ちで対応していただければ幸いです。

児童は学校生活の中で様々な失敗やトラブルを経験しながらその都度成長していきます。卒業までお付き合いする保護者同士ですので、ぜひよい関係を続けてほしいと思います。